

がわしま



議会だより

12月定例会

No.99

平成25年2月25日

12月定例会審議結果
委員会の動き

一般質問 町の考えを問う

1月臨時会の審議結果



豆まきをする子どもたち（川島幼稚園）

きらりと光る まちづくりを目指して



議長 小高 春雄
お だ か へ る お

2013年最初の議会だよりの発行に際し、議会を代表いたしましたしてご挨拶申し上げます。

本年は社会が大きく変化し、価値観が物資、お金や規模から、人々の喜び、快適さ、感動、共感等を誘う新たな価値基準が形成されていく節目の年となるよう願っております。そして、優しさ、ゆとりとは何かを見つめ直し、社会形成や経

済、暮らしも変化していく中、政治も中央から地方分権型へとシフトしてきております。議会も将来展望を見据え活動し、新たな時、新たな道を開き、町民の皆様が希望、感動、笑顔を共有できる、小さくてもきらりと光るまちづくりへ一歩前進してまいりたいと存じますので、本年もご指導の程よろしくお願い申し上げます。



←前列右から
山田 敏夫議員

←後列右から
佐藤 芳男議員

尾崎 宗良議員

森田 敏男議員

菊地 敏昭議員

飯野 徹也議員

小高 春雄議長

為水 順二議員

石川 征郎 副議長

栗岩 輝治議員

土屋 祥吉議員

新井 悦子議員

道祖土 証議員

吉田 豊子議員

平成24年 12月定例会議案審議結果

12月の議会定例会が12月5日から12月12日までの会期8日間で行われました。この議会では、平成24年度一般会計補正予算など11議案が審議され、全て原案可決されました。また、一般質問には6人が登壇し、活発な議論が展開されました。主な内容は次のとおりです。

議案番号	議案名 議案内容	採決結果
議案第58号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度川島町一般会計補正予算（第3号）） 歳入歳出それぞれ845万5千円を追加し、総額を65億901万4千円とするものです。	全員賛成 原案承認
議案第59号	川島町幼稚園設置に関する条例を廃止する条例を定めることについて 平成28年3月をもって川島町立川島幼稚園を廃園することに伴い条例を廃止するものです。	賛成多数 原案可決
議案第60号	川島海洋センター設置及び管理条例を廃止する条例を定めることについて 川島海洋センターを閉鎖したことに伴い条例を廃止するものです。	全員賛成 原案可決
議案第61号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 白岡町の市制施行及び蓮田市白岡町衛生組合の名称変更に伴い規約を変更するものです。	全員賛成 原案可決
議案第62号	平成24年度川島町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ5,745万6千円を追加し、総額を65億6,647万円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第63号	平成24年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ2,775万6千円を追加し、総額を26億1,229万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第64号	平成24年度川島町学校給食費特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ18万円を追加し、総額を8,708万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第65号	平成24年度川島町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ25万7千円を追加し、総額を13億8,820万2千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第66号	平成24年度川島町水道事業会計補正予算（第2号） 収益的収入及び支出を237万9千円追加し、総額を5億2,253万4千円とし、資本的収入及び支出を1,663万円減額し、総額を1億5,127万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第67号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 大澤晃氏の任期は平成25年1月31日で満了となるため再任するものです。	全員賛成 原案同意
議案第68号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 関光一氏の任期は平成25年1月31日で満了となるため再任するものです。	全員賛成 原案同意

耐震工事中の市野川大橋



耐震工事中の市野川大橋

●平成24年度川島町一般会計補正予算(第4号)について

問 財産売り払い収入は4件ですが、赤道(あかみち)も入っているのか。

答 赤道も入っています。上八ツ林の119・07㎡で昔から宅地の一部として使用していたものを普通財産として払下げたものなどです。

問 納税切符が事業主に送付され

ますが、どういふことか。

答 特別徴収について、事業主が社員の給与から所得税、住民税を納付するものです。地方税法上、給与所得者の住民税は特別徴収が原則であり協力をお願いします。

問 西中の土地購入費は地域住民のことを考慮して、建設当時の価格で購入したのか。

答 平成19年にインター開発があり同年11月に市街化区域に編入されましたが、調整ができましたので今回のような単価になりました。

問 農道保全対策事業負担金は市野川大橋耐震工事費とのことですが、この通称みどりの道は、通過車両の実態や機能から見て、県道への格上げが妥当かと思うが、県へ県道格上げの働きかけがあるか伺います。

答 耐震工事の内容は橋台の補強工事と桁の落下防止工事です。県道格上げについては、熊谷市、吉見町、川島町で組織している協議

会総会の席上でもテーマになって

おり、毎年要望活動を行っていましたが、道路の規格、構造が県道としてできていない等の理由から、格上げについては難しい状況です。

●平成24年度川島町水道事業会計補正予算(第2号)について

問 給水装置工事の関係で、補助金制度が一般に周知されていないようですが、この制度の周知を改めて行う考えはあるのか伺います。

答 ホームページに掲載していますが今後水道庁舎にも情報を掲載して制度の周知を図っていきます。

問 補助金制度の一部を変えた内容について伺いたい。

答 工事のうち公道部分の縦断の延長を50m以内から100mまでに変更し、補助額の内容を口径ごとに分けたことです。今後、規則や要綱等の改正があった場合は情報提供をしていきたいと思えます。

問 町制施行40周年記念事業で吉見浄水場見学の募集がありました



吉見浄水場

が何人参加したか。また町の水道事業PRを目的に実施したものは、町内在住在勤の方8名でした。また、町の水道水は県水を受水していますので、その水源の吉見浄水場の施設での処理過程の状況等を知ってもらうために計画したものです。

※赤道(あかみち)：古くから道路として利用された土地のうち道路法の道路の敷地とされず残った土地。

町立幼稚園3年後に廃園

●川島町幼稚園設置に関する条例を廃止する条例を定めることについて

問 行政改革推進委員会で、存続するための対策等の検討をしたのか。

答 今後幼稚園運営はやっていけるのかという視点で、行政改革推進委員会へ諮問し、存続できないかという議論もしております。

問 平成23年8月に教育委員会が実施したアンケートの結果は川島幼稚園



3年後に廃園となる川島幼稚園

園に入園させたい方が多いが。

答 保護者の意向を聞くことも大事です。特に行政改革についての検討を重ねてきた上で、様々な要件を総合的に判断し、廃園は止むを得ない形となりました。アンケートの結果も踏まえております。

問 515人の保護者がいるながら最後の説明会の保護者の答えだけで結論を出したのでは。

答 関係者全員に通知を出しており、数の問題ではないと考えます。幼稚園の廃止1年延期に対して、代表の方から必ずしも賛成ではないが了承するとの話がありました。全員ではありませんが概ねの拍手をいただけただけで理解していただいたと考えています。

問 幼保一体化の中での保育園の教育の在り方について、今後3年間の間に教育長に素晴らしいものをつくっていただきたいと思いますが。

答 保育園の保育内容を見直し、幼児教育の部分も考えて進めてい

いと思っています。3年間、十分研究して取り組みたいと考えております。

問 なぜ議会に意見聴取ができなかったのか。

答 もう少し丁寧な進め方があったのではないかと、町として反省すべき点もあると感じており今後も心して進めていきます。

問 幼稚園の跡地利用や新庁舎建設など、施設の有効利用の考えは。

答 幼稚園は子育て支援センター等の利用を検討していきたい。役場庁舎が移転した場合の跡地利用も町民の皆様の意見を伺いたいと思います。

問 廃園が1年延びたので、廃止条例も1年延ばしても良かったのでは。

答 行政執行の中で廃園の方向が決まっておれば、それに沿った行政対応も提案も行えると考えております。

問 総合的な機能を持った障がい者も相談できる支援センターの考えは。

答 発達障がいのお子さんもおおり、相談できる施設は必要であると考えています。教育相談施設についてそ



学校給食センター

の一環として考えています。

●平成24年度川島町学校給食費特別会計補正予算(第1号)

問 民間委託の考えは。

答 行政改革の中で見直しをします。子どもにとって安全・安心なものを第一に考えていきたいと思


町の考えを問う

町政一般質問要旨

12月11、12日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の設立と自警団の在り方について ・集落センターの管理について 	<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町職員及び臨時職員の定員と人件費について ・川島幼稚園廃止について ・新庁舎建設について 	<p>道祖土 証 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川島町役場新庁舎建設について ・少子化対策について 	<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん対策について ・こころの体温計について 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画について ・情報伝達の考え方について ・町のイベントについて ・無料大型遊具施設について 	<p>佐藤 芳男 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたまちづくりについて ・公共交通の整備について
---	--	--	--	---	--



問 自主防災組織設立と自警団の在り方は

答 自主防災組織の中の消火班として位置付けています

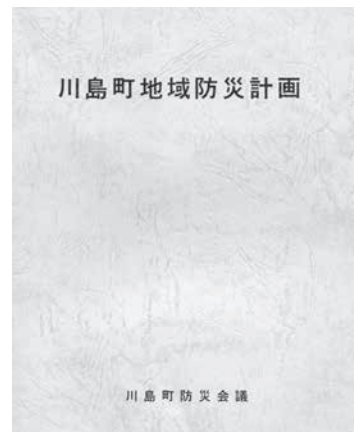
飯野 徹也

問 自主防災組織の設立と自警団の在り方について、本町では昨年度から自主防災組織の設立に取り組んでいます。24年10月現在11の自主防災会がつくられています。大震災以降地域住民による自主防災組織の重要性、有効性が見直されてきました。町には現在自主防災組織として各地域に自警団が組織されています。自主防災組織の設立を進めるにあたり自警団との関連をどのように考えているのか。

答 既存の自警団については、自主防災組織の消火班としての位置づけをお願いしています。しかし、自警

問 集落センターの防火管理についてお聞きします。集落センターは消防法で、特定防火対象物となり、収容人員30人を超えるものは防火管理が義務付けられています。建物の管理者は、法的資格を有した防火管理者を選任し、消防計画を提出しなければなりません。また、消防設備についても、法定点検が求められています。町は集落センターの管理の実施状況についていかに把握しているか。管理費用の助成についてどのように考えているか。

答 防火管理の状況は消防署からの情報により把握しています。災害時に1次避難所としての位置づけも考えられることから、防火管理にかかわる費用の助成の必要性を検討していきます。



川島町地域防災計画



廃園となる川島幼稚園

問 川島幼稚園の廃止は、共産党川島支部で実施したアンケートでは、反対58%、賛成33%と存続を願う町民が多数であり、町民の理解は得られていないのではないか。廃止撤回を求めます。

答 撤回は考えておりません。総合的に判断して廃止をしていきます。

問 町職員及び臨時職員の定員について、平成14年に211人だった職員数が平成24年では181人と14%も激減している。一方臨時職員が平



答

問

幼稚園廃止は撤回せよ
総合的な判断で決定します

栗 岩 輝 治

成16年40人が平成23年には79人と倍増している。町の適正な職員数は何人なのか伺います。

答 職員数は平成17年基準200人に対し平成22年190人で目標を達成しております。

問 職員の人件費が平成15年度約17億円が平成23年度比3億円削減されているが、この実情についての町の見解は。

答 職員の給料表を国家公務員に準拠して改定した引き下げと、団塊世代の職員の退職に伴って削減となりました。

問 新庁舎建設問題で、コミセンに建設の場合、コミセン、町民会館の流用可能な面積は何㎡か。

答 480㎡です。

問 新庁舎建設で議会との対応はどのような予定ですか。

答 基本設計に係る予算は、当初予算に計上する予定です。

川島幼稚園を廃園にしないで、国が勧めている幼保連携認定こども園への考えは。

答 保育園を中心とした子育て支援の充実に努めます。

問 子どもたちの教育と福祉を一元化した子ども課の設置の考えは。

答 今後組織を見直す中で検討していきたいと思っています。

問 現庁舎の跡地利用について新庁舎建設検討委員会で議論したのか。

答 検討委員会では議論していません。

問 現庁舎の跡地利用計画は。

答 保健センター機能を中心とした計画が望ましいと考えています。

問 国土交通省庁舎基準の会議室の面積は52㎡で、北本市でも155㎡を計画しているのに、740㎡も必要なのか。

答 実情に合わせ算出し、必要であるものを加味した中で算出しました。

問 町民会館とコミセンの会議室(合計480㎡)の中に新庁舎に入る生涯学習課と教育総務課、教育長室の部分は、含まれているのか。

答 教育長室と2つの事務室は含まれていません。

問 町長室・副町長室・教育長室をそれぞれ約36畳を算出しているがその配分は。

答 平面図を起こしてからの話です。北本市では、備品を再利用する事で3億円以上減額出来たと聞いているが、町新庁舎の備品購入金額は、備品購入額は算定していません。



問

幼稚園をこども園への考えは

答

保育園の充実に努めます

道 祖 土 証

川島幼稚園を廃園にしないで、国が勧めている幼保連携認定こども園への考えは。

答 保育園を中心とした子育て支援の充実に努めます。

問 子どもたちの教育と福祉を一元化した子ども課の設置の考えは。

答 今後組織を見直す中で検討していきたいと思っています。

問 現庁舎の跡地利用について新庁舎建設検討委員会で議論したのか。

答 検討委員会では議論していません。

問 現庁舎の跡地利用計画は。

答 保健センター機能を中心とした計画が望ましいと考えています。

問 国土交通省庁舎基準の会議室の面積は52㎡で、北本市でも155㎡を計画しているのに、740㎡も必要なのか。

答 実情に合わせ算出し、必要であるものを加味した中で算出しました。

問 町民会館とコミセンの会議室(合計480㎡)の中に新庁舎に入る生涯学習課と教育総務課、教育長室の部分は、含まれているのか。

答 教育長室と2つの事務室は含まれていません。

問 町長室・副町長室・教育長室をそれぞれ約36畳を算出しているがその配分は。

答 平面図を起こしてからの話です。北本市では、備品を再利用する事で3億円以上減額出来たと聞いているが、町新庁舎の備品購入金額は、備品購入額は算定していません。



総工費約14億円の宮代町木造庁舎



問 情報伝達の考え方は

情報の共有化と情報ネットワークの構築を進めます

答

問 地域防災計画について伺います。防災協定を提携した企業団体数は。

答 現在まで23件で、東日本大震災後はそのうち8件です。

問 指定避難所運営マニュアルの作成見直しは。

答 地域防災計画修正作業と合わせて8項目のマニュアルを改正します。

問 情報伝達的手段、体制の周知は。

答 災害情報の共有化ができる情報ネットワークの構築を進め、移動系防災行政無線、防災ラジオの配置や

新マスコットキャラクター「かわみん」



町道ロードサイン

菊地敏昭

かわべえメールも9月より稼働しました。12月10日現在546件の登録があります。

問 児童の防災体験学習については。

答 東日本大震災では、ライフラインが寸断し、避難所で被災者自らが炊き出しを行わなければならぬ状況が生じており、今後関係機関と協議し検討してまいります。

問 情報伝達の考え方を伺います。かわべえのつばやきが不自然ではないか。また、かわみんの貸出しは。

答 情報の共有化を徹底し、不愉快になるような言葉使いにならないよう対応し変更します。かわみんの貸出しは検討します。

問 町道3路線にネームプレートが設置されました。また、埼玉サイクルネットワークの川島3ルートに案内板が設置されており、町のPRになつていると思うが、今後の情報発信はどのように考えているか。

答 関係機関と連絡調整しながら適切に情報発信してまいります。

関係機関と連絡調整しながら適切に情報発信してまいります。



問 こころの体温計は

答 セルフチェックシートを配布

問 がんは今や2人に1人がかかる国民病です。34万人がなくなつていきます。がん対策は進められていますか。日本の女性のがん検診率は2割程度と低迷しています。小中学校で保健学習カリキュラムに女性特有のがん予防を盛り込めないか伺います。

答 子ども達が学校教育の現場で正しい知識を学ぶことは重要です。義務教育の時期に正しい知識と予防策が大切です。リーフレットの配布や、全額助成している子宮頸がん予防ワクチン接種を呼びかけています。がんに限らず生活習慣を起因とした疾病予防のため、発達段階に応じた正

新井悦子

問 しい知識の習得に努めていきます。自殺予防対策が急務です。自殺者が10年以上年間3万人を超えている異常事態が続いています。自殺との関連性が強いうつ病対策として、気軽に心の健康状態をチェックできるメンタルセルフチェックシステムこころの体温計を町ホームページに掲載できないか伺います。

答 自殺予防対策として、講演会を実施しました。予防啓発、うつ病に気が付くポイント、悩みに応じた情報提供を掲載したパンフレットを全戸配付しました。こころの体温計につきましては、導入している市町村等の状況も調査し、効果や利用度を研究し検討してまいります。セルフチェックシートもホームページ、広報に掲載を検討してまいります。



こころの体温計



ぐるっと川島巡回バス

問 第5次川島町総合振興計画では自然と調和を保ち快適に定住できるまちづくりの一環として、市民農園の促進、住宅環境の整備による水辺再生事業をうたっていますが、市民農園の現状と問題点を伺います。

答 平成22年度開園した全84区画のうち町内者13区画、町外者43区画が利用されており、若干利用率が下がっています。田植え時期の排水に問題がありましたので、地権者、利用者との了解を得て、土盛りなどの対

問 第1回川島町公共交通会議が開かれましたが、実施に向けての進捗状況を伺います。

答 通勤・通学者に重点を置いたまちづくり、高齢者に重点を置いたまちづくりは、どちらにも80%以上の賛同を頂きました。今後アンケート調査の分析、システムの方向性など検討を進めます。平成25年秋の試行運転を目指し、26年秋に移送サービスの開始をと考えています。

策を検討しています。

問 長楽用水の今後の整備方針、また比企自転車道を含めた活用方針を伺います。

答 水辺再生事業として約700mが整備され、残り約2kmが県の「川のみるごと再生プロジェクト」として整備の予定です。

問 ベンチあるいは自転車置き場など設置しましたが、引き続き県にも要望したいと考えています。

答 第5次川島町総合振興計画で公共交通の充実が最重要施策と考えます。第1回川島町公共交通会議が開かれましたが、実施に向けての進捗状況を伺います。



答

問

公共交通の充実について考えは平成25年度試行運転を目指します

佐藤芳男

一部事務組合議会からの報告

川越地区消防組合議会

森田 敏男
道祖土 証
為水 順二

平成24年川越地区消防組合議会第3回定例会は10月4日開会され、平成23年度川越地区消防組合一般会計歳入歳出決算認定について審議しました。

歳入合計は予算現額47億4838万円、調定額47億1086万208円、収入未済額93万8000円です。歳出合計は予算現額47億4838万円支出済額45億9792万8121円、不用額1億5045万1879円、歳入歳出差引残額1億1293万2087円です。

歳入の主なもの川越市・川島町の共通経費などの負担金44億6581万3659円で歳出の主なもの、事務全般に係る経費の常

備消防費39億5799万8658円との説明があり、採決の結果原案通り認定する事に決定されました。

次に川越地区消防組合火災予防条例の一部を改正する条例をさだめることについて審議しました。

急速充電設備内容と設置状況の質疑に対し、急速充電設備は主に屋外自立型で充電ケーブルから電気自動車に充電するものです。設備状況は国内に1304台、県内に64台、川越地区消防組合管内に3台設置してありますとの答弁があり、採決の結果原案通り可決する事に決定されました。

(道祖土)

住宅用火災警報器を各部屋に取り付けましょう。



(川越地区消防組合HPより)

●平成23年の統計では、全国の住宅火災による死者（放火自殺者を除く）1,070人のうち、65歳以上の高齢者が711人を占めており、前年に比べて70人の増加となっています。また、死亡に至った経過の54%（578人）は『逃げ遅れ』によるものです。こうした死者を減らすために、火災予防条例により「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました。

(平成24年「消防白書」より)

議会運営委員会所管事務調査

① 調査期間

平成24年11月7日（水）～8日（木）

② 視察地

神奈川県大磯町、湯河原町

③ 視察課題

・議会活性化について

菊地敏昭
飯田野徹也
吉田豊子
栗岩輝治
土屋祥吉
高崎宗良
小尾春雄



大磯町での研修

大磯町は神奈川県中央南部に位置し、南は相模湾、北は丘陵地帯、東は平塚市、西は二宮町と接しています。気候は、海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。大磯町は時の政治家や文化人が訪れ、この町に暮らす中で偉大な足跡を残した「初代内閣総理大臣、伊藤博文」「戦後日

本の復興を支えた元首相、吉田茂」ほか多数の著名人を生んだ町です。

行財政概要は、面積17・23km²、人口3万3000人、1万2600世帯です。平成24年度一般会計予算は92億8700万円、特別会計の合計が、85億1100万円です。財政力指数も、0・94と健全財政の町でした。議員定数は14人で、常任委員会は、総務建設7人、福祉文教7人、議会運営委員7人の構成となっています。

大磯町の議会改革についての調査研修では、「議会活性化の取組みについて」「一般質問について」「議会報告会の開催について」「町村クラウド」「議会の新たな取り組みについて」意見交換を実施してまいりました。

湘南CATVによる本会議の生中

継、再放送を平成19年9月に導入。年間200万円の機材借上費のみです。また、会議録検索システムは平成19年6月に導入しています。「一般会議」は、平成21年11月より実施し、町内で活動している団体からの申し出があった場合に、個別に開催することと、意見交換の機会をもち町への政策提言に繋げていくとの内容でした。議会報告会では、議決された内容の報告をしているとのことです。町村クラウドは平成22年6月共同化が決定されました。川島町は町村クラウド準備中とのことですが、経費面、安全面等利点を活かした行政に期待いたします。

次に湯河原町ですが、伊豆、熱海の山地、真鶴半島に囲まれた波静かな海岸から形成される緑豊かな温泉地、観光商工の町です。行財政概要は、面積40・99km²、人口2万7000人、1万2500世帯です。平成24年度一般会計予算は79億1800万円特別会計の合計が86億800万円です。議員定数は14人で常任委員会は、総務文教福祉、環境観光産業各7人、議会運営委員7人となって

います。



湯河原町役場敷地内にて

湯河原町の議会改革についての調査研修では、議会の活性化、地方自治法第9条第2項の追加項目、今後の新たな取り組みについて意見交換を実施してまいりました。

議会は町民の代表であることを意識し、地方分権時代にふさわしい町民の信託に応える議会を目指し、社会的役割が増す中、議員自らが政策立案能力を磨き、提言できるような議会改革、活性化を進めていきます。

埼玉県町村議会議員研修会

【研修日】

・平成24年10月12日（金）

【講演】

・大震災と原発事故から1年半 被災地・福島の今

【講師】

・福島民報社編集局報道部報道部長 早川 正也氏

平成24年度埼玉県町村議会議員研修会が、10月12日（金）に吉見町民会館（フレサよしみ）にて行われました。講演は、「大震災と原発事故から1年半 被災地・福島の今」というものでした。講師は、福島民報社編集局報道部報道部長、早川正也氏でした。

早川氏は昭和59年に福島民報社に入社、社会部や報道部デスクいわき支社報道部長を経て平成23年4月から現職。福島の今を発信し続けています。原発が風化するのでは、固定化してしまうのではないかと、現状が変わらないことに県民もあきらめ感が出ていることを懸念しています。福島県民196万4210人は今も県内で暮らしています。日本の原子力政策を後回しにしてきた結果、現実の課題にスピード感を求められているが対応が遅すぎます。最大の受益地としてどう考えていけるのか。

福島の問題だと切り捨てられるとつらい。そして福島のことを忘れないでほしいと訴えられました。参加者の心に響く言葉でした。私達ができる支援を1人でも多くの人に伝えていくことが使命だと思いました。

（新井）



講師 早川 正也 氏

1月臨時会

1月30日に平成25年第1回臨時会が開催され、一般会計補正予算1件、議員提出議案3件が審議されました。主な内容は次のとおりです。

■議案第1号 平成24年度川島町一般会計補正予算（第5号）

新庁舎建設に係るプロポーザル審査参加事業者報償金、プロポーザル審査会委員謝金の追加、庁舎建設検討委員会委員謝金更正減により、歳入歳出それぞれ19万8千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ65億6666万8千円とするものです。

（全員賛成、可決）

■議提第1号 川島町議会委員会条例の一部を改正する条例を定めることについて

地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に公布され、委員の選任等に関する改正が行われた

ことに伴い、条例の一部を改正するものです。

（全員賛成、可決）

■議提第2号 川島町議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

地方自治法の一部を改正する法律が公布され、従来の「政務調査費」から「政務活動費」への名称変更、使途基準等に関する改正が行われたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

（全員賛成、可決）

■議提第3号 川島町議会会議規則の一部を改正する規則を定めることについて

地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に公布され、会議規則に「公聴会」「参考人」が追加される等の改正が行われたことに伴い、川島町議会会議規則の一部を改正するものです。

（全員賛成、可決）

議会を傍聴しませんか？

・誰でも議会を傍聴することができます。
・議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

議会日誌

11月

- 14日 議会報編集委員会
- 21日 議員研修会
- 23日 第27回川島町農業商工祭
- 28日 議会運営委員会
- ” 議会全員協議会

12月

5日~12日 12月定例会

1月

- 4日 仕事始め
- 11日 議会運営委員会協議会
- 13日 成人式
- 17日 議会報編集委員会
- 22日 議会運営委員会
- ” 議会全員協議会
- 30日 1月臨時会
- ” 比企郡町村議会議員研修会

2月

- 5日 議会報編集委員会
- 14日 議員研修

3月定例会

2月27日 (水)

開催予定です。



川島町のマスコットキャラクター「かわみん」



川島町のマスコットキャラクター「かわべえ」

●定例会の開催予定や議会だより・議会会議録は、川島町のホームページでもご覧いただけます。

① 川島町ホームページ から⇒② 議会

<http://www.town.kawajima.saitama.jp/>

表紙解説

川島幼稚園で節分行事の豆まきが行われました。園児の皆さん一人一人が可愛い手作りの面をかぶり、歳の数だけお豆をいただきました。大人鬼さんが登場して子鬼さんたち全員で豆をまきながら「福はうち!」「鬼は外!」と園庭を走りまわりながら、笑顔で寒さを吹飛ばす元気な声が広がりました。

今年は東北の復旧・復興と経済再生を切に願ひ、皆様とともに2013年明るい元気な日本を創っていくようではありませんか。町民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

(写真・文章/新井)

編集後記

昨年の師走に行われました衆議院議員総選挙の結果、政権の交代となりました。新年となり、新たな「安倍内閣」が発足し、「日本再生、デフレからの脱却」と提唱されておることは、皆様方もすでに報道等で熟知されておることと推察いたします。

さて、議会報の編集にあたりましては、今後も正確に、詳細に記述することが、議会だよりを愛読いただいております読者の皆様への努めと考え、今後も御理解、御指導を賜りまして、鋭意努力いたして参る所存です。

(石川)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 石川 征郎 |
| 副委員長 | 佐藤 芳男 |
| 委員 | 菊地 敏昭 |
| ” | 飯野 徹也 |
| ” | 栗岩 輝治 |
| ” | 新井 悦子 |
| 相談役 | 小高 春雄 |